

# 平成29年度 地域座談会で寄せられた要望・意見・提案の対応方針等

【城山地域集会施設】城山自治会 参加者数：13名

No	要望・意見・提案の内容	所管課	対応方針等
1	生産性(税収)を上げるには、大胆な取り組みを進めていかねばならないと思う。例えば健康福祉センターの場所に高層ビルを建設し、住宅・ホテル・公共施設を集約してみたらどうか。また、企業展開としては高齢者雇用にAIを活用、宅配企業などが考えられる。	政策推進課	健康福祉センターは建設後20年のため、まだ利用していく予定ですが、民間の力を借りて新たな(大胆な)取り組みを推進する重要性は認識しています。また、宿泊機能は松田の弱点と認識しているので、対応していかねばなりません。何れにしても土地利用をはじめとする所要の各種計画等を策定し、必要性や財源など総合的に判断し、国や県の支援策を獲得した上で、実現に結び付けてまいります。
2	子育て世代の女性の集まり、高齢世代が築いた財産が維持できなくなっていることを懸念している。女性活躍の取組みは今日知ったところなので、もっとPRされたい。	政策推進課 定住少子化担当室	女性活躍に関する取組みは、平成29年度に計画等を策定しました。ご指摘を踏まえて広報紙・ホームページ・SNSなどを活用して更なる周知を実施してまいります。
3	住民の防災意識を上げる取り組みが必要なので、耐震診断の必要性をお知らせするダイレクトメールや、対応にどれくらいの費用が必要かについて周知していったらどうか。	まちづくり課	町では、「木造住宅耐震診断補助金」「木造住宅耐震改修工事費補助金」「危険ブロック塀等撤去費補助金」などの防災や安全確保の補助制度を設けております。これら補助金については、おしらせ号で年3回掲載しております。また、その他無料相談会を年1回、エリアを決めて耐震診断の必要がある家の戸別訪問を行い、耐震の必要性について周知を図っています。今後も防災意識が向上する取組みを実施します。
4	子どもの館は、立地面で松田の子供の利用が大変少ないので、例えば旧土木事務所に子どもが集う拠点を整備してはどうか。	観光経済課	松田の子どもの利用増加を図るためには、拠点を町内の施設に移転することは大変良い提案ですので、庁内で担当課など関係各課を含めて調査・研究してまいります。
5	松田は様々なイベントを開催しているが、商店等が稼いでいるように見えないので残念。B級グルメのようなキラコンテンツを作ることや、コストをかけないウォーキングイベントなどやり方次第ではないか。	観光経済課	ご提案に関して、松田町商工振興会が事務局となり、今年で4回目となる「わくわく商品券事業」、「松田ちよい呑みフェスティバル」や桜まつり期間中の「まつだ桜ゆめフェスタ」などを実施しながら、商店街等が元気となる参加できる仕組みづくりを行っています。商店等の活性化について、町・商工振興会及び各商店の意思統一が必要です。各まつりやイベントを実施するにあたり、町商工振興会を中心に各関係団体と調整してまいります。